

# 福井県開催！ 北陸近隣ブロックTAC研修会！



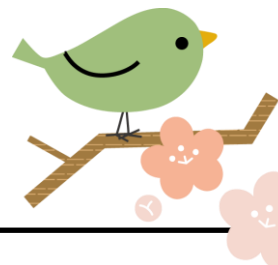
せました。担い手に頻繁に訪問できた事と県内だけでなく県外のTACと情報共有出来たことが良かったと発表されました。また、JA全農 農産物商品開発室つくば分室の中西室長から担い手農家の課題解決に向けた技術の活用や、低コスト生産技術、また水田園芸に欠かせない水位制御、収量増加に向けた新品種の取組み等、事例を交えての紹介がありました。その後の懇親会では、2日目に行われる分科会の班で交流が行われました。

2月18～19日、ホテルフジタ福井にて北陸近隣ブロックTAC研修会が6県のTAC関係者120名が出席し盛大に開催されました。主催県代表として、香川理事長の挨拶で開会し、1日目は各県代表の事例発表があり、本県からはJAたんなん山田氏から大規模水田園芸の取組み事例として『キャベツ生産高ゼロからの挑戦』と題し発表しました。1年目は失敗したものの、2年目は普及員・TAC・中央会・経済連・農業試験場が連携し『チームキャベツ』を結成し、明確な目標を設定し収量や作業性をアップさ



交流会では、福井県経済連より若狭牛そば・すてきなカレーが、紹介され、抽選で各県の参加者に振舞われました。

交流会では、TACとして活動していく上での悩みや意見交換など、とても有意義な時間となりました。





# 北陸近隣ブロックTAC研修会！

## 2日目



2日目は、班別に分科会を行いました。分科会では1グループ8人で26年度の活動方針を作成していただきました。限られた時間の中でたくさんの意見交換ができました。また、各県の取り組み方などを聞くことができ、新たな発見や今後の活動の参考になる意見交換ができました。



## 基調講演：ブックオフコーポレーション 取締役相談役 橋本真由美 氏



基調講演はブックオフコーポレーション、取締役相談役、橋本真由美氏による「チームで喜び、チームで考え、チームで一体となって」と題し講演していただきました。橋本氏は福井県出身。一宮女子短期大学家政科栄養コース卒業後、栄養士として工場や病院で栄養指導に従事し、その後、結婚して主婦となりました。2児の母として子育てをしたのち、ブックオフ直営1号店（神奈川県相模原市）のパートタイムのオープニングスタッフとなります。その後、直営2号店の店長、取締役、東京八王子堀之内店店長、常務などを経て社長に就任されました。

また、講演の中でエピソードを交えながらの「団結するチームは困難をはね返せる。」「正しい評価はモチベーションを上げる。」「お客様と対面する基本を忘れない事。」「相手の立場にあわせた提案・店づくりができていますか。」などTACの活動に結びつく話が数多くあり、TAC担当者の意識向上を図る研修会となりました。今後、TACも横の繋がりを大切にし、チームを作り課題解決に取り組む事が大切だと感じました。





# 初荷出発式

【JAはるえ】

トラックに納品する農機を積み込み出発準備中です。

【JA福井市】

農家の農舎に入庫しています。



1月8日、JA福井市 西部農業施設センターにて  
1月24日（金）JAはるえ総合営農指導拠点事業所にて初荷が行われました。「初荷」と書かれた旗やのぼりをつけ、購入いただいた農家さんへ納品致しました。

出発式では、JA・経済連・メーカーが一体となり推進していくことを決意表明しました。

## 常勤役員との同行訪問



日本農業新聞

平成26年1月23日掲載

（愛称TACリタック）  
が小浜市、若狭町上中地区、おおい町、高浜町の管内4市町、計35カ所を巡回。訪問先では、商品単価アップのシステム構築や出荷資材の検討など、生産者から多くの要望が出た。  
宮田組合長は「要望や課題など、生産者の生の声を聞くことができた。早急に検討に入り、若狭単価アップのシステム構築や出荷資材の検討など、生産者から多くの要望が出た。」と力強く話した。

福井・若狭  
JA若狭  
現場の声  
役員とTAC農家訪問  
【福井・若狭】JA若狭は15、21日に、大規模農家や個人農家を訪問し、協力を仰いだ。  
宮田幸一組合長ら同JAの常勤役員と地域農業の担い手に向く担当者



農家に訪問する宮田組合長とTAC職員（福井県高浜町で）





# J A 敦賀美方



1月31日(金)敦賀市きらめきみなと館において、新規水稲農薬説明会が、農家・関係者約60名が出席の中開催されました。

田辺専務の挨拶の後、北陸農政局 福井地域センターより、「新たな農業・農村政策について」4つの改革1) 農地中間管理機構 2) 経営所得安定対策 3) 水田フル活用と米政策の見直しについて 4) 日本型直接支払制度の創設について説明がありました。

次に経済連担い手対策課 牧野専門員課長より、「土づくり」について、なぜ土づくりが必要なのかにポイントを絞った説明がありました。

最後に26年度の新規農薬の説明(10品目)がありました。約60名の参加者は熱心に聞き入っていました。



# J A 若狭 おいしい米づくり研修会

2月27日(木) J A若狭農業活性化センターにおいて若狭地区おいしい米づくり研修会が、農家・関係者等60名が出席し開催されました。宮田組合長、経済連香川理事長の挨拶のあと、(株)神明 吉川専務より、「流通からみた売れる米づくり」と題し講演がありました。日本一の米卸会社の役員であるだけに、米取引の現状と課題、売れる米づくり等、興味深く、説得力のある講演がありました。

続いて「第2回 食の都、若狭で競う食味コンテスト」の表彰式では、高浜町の杉本和司様が金賞を受賞されました。

研修会では、「平成25年度若狭米の米づくりの結果と対策」について、嶺南振興局農業経営支援部 田中主任より説明がありました。

次に、「平成26年度産米振興方針」について、営農経済部中村次長より、26年産 J A若狭の集荷目標を111,000俵としている事等説明がありました。

最後に経済連担い手対策課 牧野専門員課長より、J A若狭のTACと連携した「土づくり実証圃」の結果等、土づくりの効果を中心とした報告がありました。



写真は、(株)神明 吉川専務





# 富山県TAC JA若狭訪問！！

3月6日JA若狭のTACの取組み、営農指導体制を学ぼうと富山市内の5JAと行政機関で構成する富山市農業振興会がJA若狭を訪問しました。富山県の営農指導員ら25名が参加しました。JAあおばの藤井儀隆常務は「横のつながりを大切にお互いに、良い点は共有できるよう取り組みなど聞かせていただきたい。」とあいさつがありました。



研修会では、JA若狭営農経済部の高鳥部長とTAC岩間主任が同JAの概要や活動を報告しました。役員同行による担い手訪問や土づくり推進など、パワーポイントを使い発表しました。意見交換会では、視察側の「TACとしての大切なスキルは何か」との質問にTACは「営農の知識を蓄えることは大切だが、農家に何回も会い、お互いの信頼関係を築くことがTACとして一番大切」と答えました。振興会事務局のJAなのはな、太田吉孝営農部長は「専任TACを配置することの重要性やTACと担い手との関係づくりなど、多くの事を学ぶことができた。」と挨拶がありました。

## 第5回 TAC研修会開催 3月13日



3月13日総合センターにて第5回TAC研修会が開催されました。県下8JAから26名の参加がありました。

今回の研修会では、「最近の農政について」中央会 地域農業支援室 小島室長。「土づくりマニュアルについて」経済連 担い手対策課 牧野専門員課長。「新TACシステムについて」経済連 担い手対策課 新宮課長より講義がありました。今後もTAC担当者の活動に活かせるような研修会を開催していきます。担当者は参加よろしくお願い致します。





# ふくい白ねぎ

カラダが  
ヨロコブ  
福井産

## 産地拡大大会 開催!

2月5日(水)「ふくい白ねぎ産地拡大大会」がJA県経済連総合センターにて開催されました。県内生産者やJA、流通関係者ら約150人が参加し、県産白ねぎの年間販売額10億円を目指して、水田活用を柱に生産拡大を図ることを確認しました。販売額は福井を代表する梅や里芋を抜き、園芸販売トップの約4億円となっています。冒頭、香川理事長より「農業を取り巻く国の政策が変化する中で、白ねぎを一つの起爆剤にしたい」と挨拶し、重要品目として一層の出荷拡大に努める考えが示されました。



大阪中央青果 法心常務の講演

続いて、大阪中央青果の法心常務より「福井産白ねぎの需要はある。消費者がまた買う品質で、責任をもって出荷してほしい」と生産者に訴えました。大会では、JA福井市の白ねぎ生産者・小西さんが専用機械を活用した白ねぎ大規模栽培の取り組みを紹介。また大規模生産者を代表し、JA若狭の白ねぎ生産者・国久さんより10億円産地に向けた決意を述べ、参加者全員でがんばろう三唱を行いました。

## 水田を活用した園芸作物栽培をはじめませんか?



ねぎクロ

福井県の農業はこれまで、水田地域の水稲を中心として発展してきましたが、米消費の減少および米価の低迷などから経営的に厳しい状況が続いています。

そこで、水田を活用した園芸作物の栽培による経営の安定化に努めてみませんか?

県の助成が充実している、今、がチャンス。

### 重点推進品目

野菜：【ネギ、キャベツ、ブロッコリー、ニンジン】

果樹：【ブドウ、イチジク】



キャベツの定植風景

詳しくは、営農課・農林総合事務所までお問い合わせください。

